

## 復興交付金事業計画

計画名称 福島市復興交付金事業計画
計画策定主体 福島市
計画期間 平成24年度から平成27年度
計画区域 福島市 清水地区 ※計画区域、区域の現況及び事業を実施する場所がわかる図面を添付してください。
計画区域における震災による被害の状況 <p>(1) 地震災害</p> <p>福島県福島市は、東日本大震災により震度6弱の地震を記録し、甚大な被害を受けた。市内全域では、住宅等の被害が、全壊が652件、大規模半壊が598件、半壊が4,353件、半壊に至らない損壊が6,375件で計11,978件にのぼり、現在も調査を継続している。また、水道送水管の破損により市内全域で断水が発生し、復旧までに1週間程度を要し、市民生活へ大きな影響を与えた。さらに、道路、鉄道などの損壊により交通網が寸断され、食糧やガソリンなどの物資不足が発生した。</p> <p>この被害により、最大で、約7,000人の市民が一時避難するに至った。（個人宅、私設避難所を除く。）</p> <p>◆ 本計画区域の被害の状況</p> <p>① 住宅等の被害</p> <p>造成宅地（一盃森）の崩落など大規模な被害が発生した。住宅等の被害では、全壊が46件、大規模半壊が60件、半壊が426件、半壊に至らない損壊が651件発生した。</p> <p>② ライフラインの被害</p> <p>区域内全域で水道が1週間程度断水したほか、道路、公園、下水道施設などに被害が発生した。</p> <p>③ 医療機関の被害</p> <p>医療機関においては、施設自体の被害のほか、断水により人口透析など患者の治療に支障をきたす事態となった。</p> <p>④ 防災拠点の被害</p> <p>学校など災害時に避難所や防災拠点となる公共施設が損壊した。</p> <p>東日本大震災では、本市が目指す、安全で安心なまちづくりの根幹を揺るがす被害が発生し、市民が安全に安心して暮らせる、災害につよいまちづくりを一層推進することが望まれている。</p>

## (2) 原子力災害

原子力災害では、飛散した放射性物質の影響により、平成23年3月15日に1時間あたりの空間放射線量で最高の $24 \mu\text{Sv}/\text{h}$ を記録した。その後、放射線量は低下してきているが、除染をはじめ多くの課題が残されており、半減期30年という放射性物質への長期間の対応が続くものと考えられる。

### ① 市民の健康への影響

放射線の市民の健康に対する影響が危惧される。特に、子どもに対する影響への不安が大きく市外へ自主避難する市民が増加している。「全国避難者情報システム」で把握しているだけでも、2月末で約6千5百人の市民が山形県米沢市や山形市を中心に避難している。一方で、学校等における屋外活動の時間制限などにより、子どもの発育の遅れが懸念されている。

### ② 産業への影響

放射能濃度により農産品等の生産や出荷が制限されるなどの実害を受けている。本年の米の作付けについても、本市除染計画で最重点除染地域としている大波地区及び渡利地区で制限を受けるに至っている。また、風評被害により、農業や工業では、福島産品の販売不振、観光では、入込客数が震災前の水準を大きく割り込むなどの状況が続いている。

放射線被害から、市民の健康や産業を守るまちづくりが求められている。また、原子力災害に伴う避難等の指定を受けた地域から1万5千人を超える広域避難者を受け入れており、広域避難者を含めた復興まちづくりが必要となっている。

## 震災の被害からの復興に関する目標

【子どもからお年寄りまで暮らしてよかったですと実感できるまち】の実現（福島市復興計画目標）

子どもからお年寄りまで安心して豊かに、笑顔で暮らせるまち、「暮らしてよかったです。」と実感できるまちを目指す。

### (1) 市民の安全と安心を守るまちづくり

市民が安全に安心して暮らせる居住環境が整備されたまち、特に子どもが活動する場の安全と安心を確保したまち、また、市民の健康を守る先進医療機関が充実し、それらの医療機関が機能的に結びついた医療体制が整備されたまちをつくる。

### (2) 産業と社会の活力が高まるまちづくり

災害時においても事業活動の継続を可能とする、災害に強い産業施設が整備され、また、交通通信網が整備された地域循環型経済を構築する。

### (3) 災害に強いまちづくり

災害に強い水道、道路、下水道などの社会基盤が整備されているとともに、災害発生時にいち早く市民や広域避難者の安全を確保する災害に強い防災拠点や避難所が整備され、また、安全な避難路が確保された災害に強いまちをつくる。

## 対象事業の詳細 様式1-2、1-3、1-4

## 基金設置の有無・基金設置の時期

(基金設置主体：福島市) / 無 ( )  
(基金設置の時期：平成24年9月予定)

※該当を○で囲んで下さい